

関係者様各位

2025 年 5 月 9 日

リリースノート EllipseNEO Ver.8.0.0

ライカジオシステムズ株式会社

GMAT 事業部

この度 EllipseNEO Ver.8.0.0 を 2025 年 5 月 9 日 (金) にリリースいたします。

アップデート内容につきましては下記詳細内容が含まれております。

※Ver.6.0.1 以降へアップデートされた後はバージョンダウンはできませんので予めご了承くださいませ。バージョンアップする場合は必ず「**2.バージョンアップについて**」をご確認下さいませ。

1. Ver 7.0.1 からの変更点

- ・「ジオイド 2024 日本とその周辺」への対応

2. バージョンアップについて

1) Infinity ver 3.6.1 以前のバージョンをご利用中のお客様へ。

お手元の Infinity の CCP 保守有効期限が 2022 年 4 月 20 日以降の方は、Infinity ver.4.0 以降 及び EllipseNeo ver.8.0.0 以降へバージョンアップ頂けます。ライカサポートへ Infinity の EID を提示くださいませ。インストーラーは Leica myWorld にある Infinity の商品ページからダウンロードすることができます。

2) インストールの注意事項

- ①EllipseNeo Ver.8.0.0 は、Ver.7.0.0 以降のライセンスを使用することができます。お手元にライセンス番号をご用意下さいませ。ライセンス有効時にエラーが発生した場合には、ライカサポートへご連絡の上、Infinity の EID を提示くださいます様、お願い致します。

②Ver.8.0.0 インストール前に、旧バージョンをアンインストールの上、パソコンを再起動してからインストール実行して下さいませ。

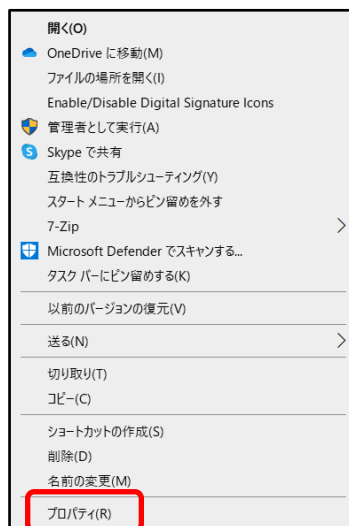
③新規インストールとなるので、新旧それぞれのジオイドデータの再登録が必要となります。

④Windows のバージョンにより EllipseNeo からの起動にて、想定外のエラーが発生する場合があります、この場合は下記の対策を講じる必要が御座います。

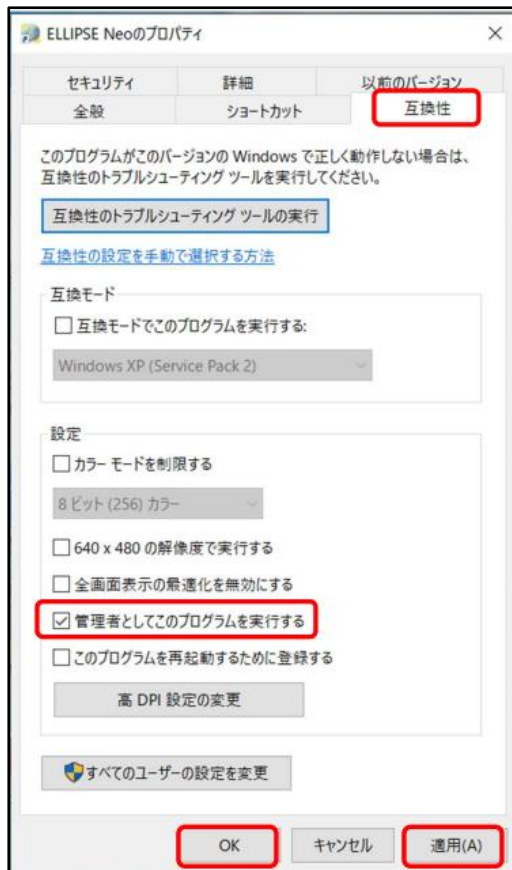
・下記の様な想定外のエラーが発生します。



・デスクトップ上の EllipseNeo のアイコン（ショートカット）を右クリック、プロパティを選択する。



・互換性を選択いただき、管理者としてこのプログラムを実行するにチェックをする、適用→OK いただければ、以降想定外のエラーは発生しません。



3) 三次元網平均プログラム (JPNET) 使用時における USB ドングルキーレス対応

これまで三次元網平均プログラム (JPNET) をご利用頂くにあたり、dongleをパソコンへ接続しない限り、網平均計算は実行できない仕様としておりました。利用者様の利用環境 (各種 OS バージョン, 各種セキュリティソフト) の設定によって、JPNET が正常インストール出来ない、dongleキーの認識が出来ないといった不具合が生じている事案がございました。

これらを解消する為に当プログラムを USB ドングルキーを使用せずとも動作する様に仕様変更させて頂きました。

これには初期設定が必要となりますので、ご提供させて頂く 2025_8.0.0_delivery フォルダ内の手引きをご参照下さいますようお願い申し上げます。

なお、旧バージョンの利用者様においても網平均計算実行時に不具合等が発生する場合、所定の新しい実行ファイル (ファイル名: gps3dn2.exe) を送付させて頂きますので、ライカサポートまでご連絡をお願い申し上げます。

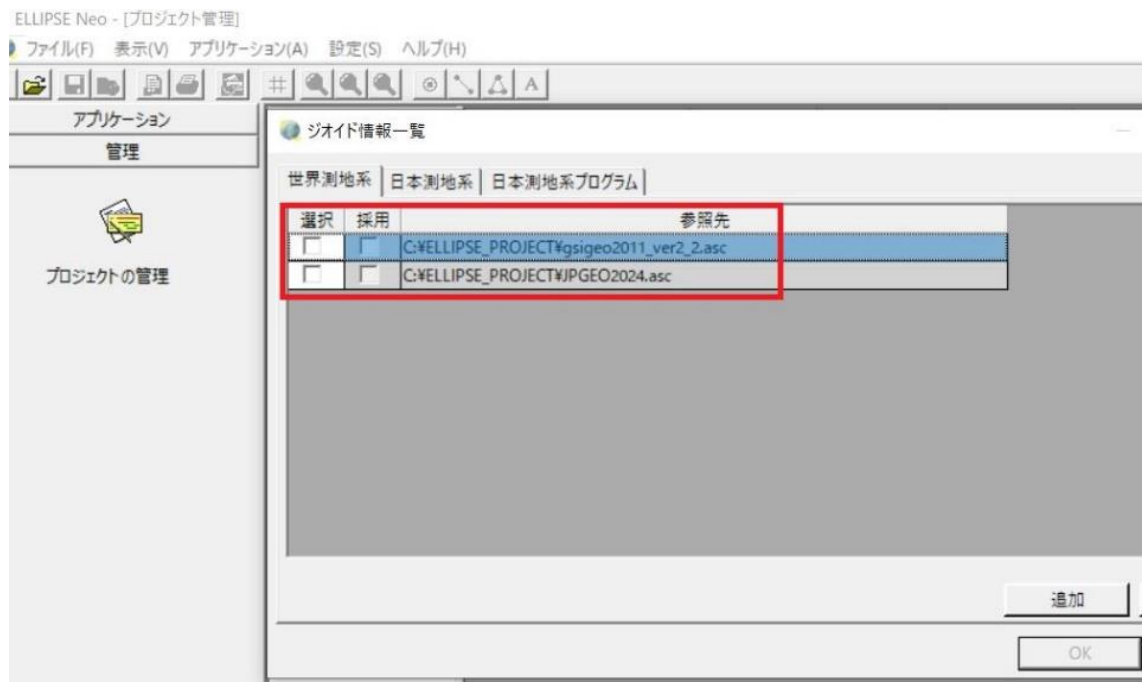
3. ジオイド 2024 日本とその周辺に伴う設定と変更内容詳細

1) JPGEO2024.asc ファイルの設定登録

ご提供させて頂く 2025_8.0.0_delivery フォルダには下記ディレクトリ内に新しいジオイドモデルである “JPGEO2024.asc” というエリプスネオで使用可能な新ジオイドファイルがあります。こちらの登録設定を実施下さいませ。

2025_8.0.0_delivery > Geoid > ジオイド2024日本とその周辺	
名前	更新日時
 JPGEO2024.asc	2025/04/17 10:55

エリプスネオ内のジオイド登録にて従来まで使用していた “gsigeo2011_ver2_2.asc” 及び新ジオイドの “JPGEO2024.asc” の両方をご登録下さいませ。



2) プロジェクト作成時の測地成果切替とジオイド切替

新ジオイドプロジェクト或いは旧ジオイドプロジェクトが混在する為、
測地成果及びジオイドの新旧どちらも選択出来る様な仕様へ変更しております。

3) 帳票の表示変更

- ・ 成果表記載の測地成果名称
例

世界測地系(測地成果2024)

座標系 = 9 基準点成果表					
観測点 番号	観測点 名称	X	Y	H	縮尺係数
					ジオイド高

- ・ 三次元網平均計算書記載のジオイド名称
例

(観測方程式)
世界測地系
实用平均計算

平面直角座標系
9系
準拠楕円体原子 (GRS80)
長半径 = 6378137 m
扁平率 = 1/ 298.257222101

・三次元網平均計算書ヘジオイド注釈文言を追記

例

分散・共分散値
DN=(0.004m) **2 DE=(0.004m) **2 DU=(0.007m) **2

スケール= 0.0000000000E+00
(ただし、B0= 35° 40' 37.83" L0= 139° 44' 51.54")
水平面内の回転= 0.000"
鉛直線偏差
 $\xi = 0.000''$ $\eta = 0.000''$

計算条件 = 実用網(ジオイド補正あり、鉛直線偏差推定なし、回転推定なし、スケール推定なし)

測量法第11条第1項第三号により国土地理院長が承認した測量の原点(標高)に基づく離島においては、ジオイド高に基準面補正量を加えた値が「ジオイド高」として表記されている。

セミ・ダイナミック補正(SemiDyna2025.par, Ver.1.0.0, 2025/2/1, 2025/4/1 (Ver.1.0.0))

計算年月日 2025年 4月14日

ご不明な点がございましたら、ライカサポートまでお問い合わせくださいませ。

ライカジオシステムズ株式会社

GMAT 事業部

メール : gc.japan.support@leica-geosystems.com

電話 : 03-4567-2020